

障害者雇用分科会における2025年度の年度目標(案)

年度目標項目	2024年度の年度目標	2024年度の年度実績	2025年度の年度目標(案)	データの出所
ハローワークにおける障害者の就職件数	110,756件以上	115,609件	115,609件以上	職業安定業務統計
【障害者雇用率関係】 ①障害者の雇用率達成企業割合 ②障害者雇用ゼロ企業のうち、新たに障害者を雇用した企業の割合	①46.8%以上 ②15.2%以上 (※) ※障害者雇用ゼロ企業(2024年6月1日時点)のうち、新たに障害者を雇用した企業(2025年6月1日時点)の割合	①調査中(2025年6月1日時点) ②調査中(2025年6月1日時点)	① 45.9%以上 ② 15.2%以上 (※) ※障害者雇用ゼロ企業(2025年6月1日時点)のうち、新たに障害者を雇用した企業(2026年6月1日時点)の割合	障害者雇用状況報告
【精神・発達障害者雇用サポーター支援実績】 精神・発達障害者雇用サポーターによる就職支援を終了した者のうち、就職した者の割合	72.8%以上	77.8%	精神・発達障害者雇用サポーターによる就職支援を終了した者のうち、就職した者の割合 75.6%以上	精神・発達障害者雇用サポーター支援状況報告

【参考】障害者雇用分科会における2025年度の年度目標(案)の考え方

年度目標項目	2025年度の年度目標(案)	年度目標(案)の考え方
ハローワークにおける障害者の就職件数	115,609件以上	目標設定の基本的な考え方：前年度実績以上として設定 目標（案）：2024年度実績以上 【過去3か年の実績】2022年度実績102,537件、2023年度実績110,756件、2024年度実績115,609件
【障害者雇用率関係】 ①障害者の雇用率達成企業割合 ②障害者雇用ゼロ企業のうち、新たに障害者を雇用した企業の割合	①45.9%以上 ②15.2%以上	目標設定の基本的な考え方：前々年度の実績に過去10か年分の平均伸び率を加味して設定 目標(案)：前々年度の実績に過去10か年の平均伸び率と2025年4月の除外率引下げの影響を加味して設定 ※雇用率に関する取扱いの変更がなされた2011年、2013年、2018年、2021年及び2024年を除いた過去10か年分(2010年～2023年)の平均伸び率(+1.6pt増)及び2025年度に実施された除外率10ptの引下げによる影響(1.7pt減(H23年の除外率10pt引下げの影響が1.7pt減であったことを踏まえ設定))を加味して設定 【過去3か年の実績】2021年度実績48.3%、2022年度実績50.1%、2023年度実績46.0% 目標設定の基本的な考え方：直近3か年の実績の平均値以上として設定 目標(案)：直近3か年の実績平均が前年度目標を下回るため、前年度と同様 【過去3か年の実績】2021年度実績13.7%、2022年度実績14.2%、2023年度実績は15.3%。3か年平均は14.4%
【精神・発達障害者雇用サポーター支援実績】 精神・発達障害者雇用サポーターによる就職支援を終了した者のうち、就職した者の割合	75.6%以上	目標設定の基本的な考え方：直近3か年の実績の平均値以上として設定 2025年度目標設定の考え方：2024年度より精神・発達障害者雇用サポーターが配置された一方、同年には法定雇用率の引上げがあったことも踏まえ、2023年度および2024年度の直近2か年分の実績の平均値以上 目標(案)：2023年度および2024年度の直近2か年の実績の平均値以上 【過去2か年実績】2023年度実績73.5%、2024年度実績77.8%。2か年平均は75.6%